



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名 日本光電工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6849 URL <http://www.nihonkohden.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 鈴木 文雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 広瀬 文男 (TEL) 03-5996-8003
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	27,775	11.3	2,167	106.3	1,853	79.0	1,060	66.5
24年3月期第1四半期	24,952	5.9	1,050	△8.2	1,035	23.1	637	41.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 995百万円(47.9%) 24年3月期第1四半期 672百万円(47.6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	24.14	—
24年3月期第1四半期	14.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	96,665	67,896	70.2	1,544.68
24年3月期	99,403	67,911	68.3	1,544.87

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 67,861百万円 24年3月期 67,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	21.00	—	23.00	44.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	60,000	8.5	5,000	20.6	4,700	22.5	2,800	21.3	63.73
通期	130,000	7.7	13,000	8.1	13,000	6.6	7,900	3.7	179.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	45,765,490株	24年3月期	45,765,490株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,833,317株	24年3月期	1,833,297株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	43,932,186株	24年3月期1Q	43,932,506株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間、国内では、本年4月に診療報酬のプラス改定が実施され、社会保障と税の一体改革で描かれた2025年の医療・介護の将来像の実現に向けて、救急、産科等の急性期医療の強化、在宅医療の充実等を推進する姿勢が示されました。海外では、欧州は財政不安の影響を受けたものの、米国、新興国における医療機器の需要は底堅く推移しました。

このような状況下、当社グループは、当期を最終年度とする3ヵ年中期経営計画「SPEED UP III」の諸施策を鋭意実行し、「コア事業の拡大・強化」、「技術開発力の強化」などの重要課題に取り組みました。

国内市場においては、病院・診療所市場が好調に推移し、PAD市場におけるAEDの販売も好調だったことから、全ての商品群で売上を伸ばすことが出来ました。特に、生体情報モニタでは、ベッドサイドモニタやセンサ類などの消耗品が好調に推移し、大幅に売上を伸ばしました。生体計測機器では、脳神経系群や心電計群、心臓カテーテル検査装置、診断情報システムが好調でした。この結果、国内売上高は227億8千4百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

海外市場においては、生体計測機器、生体情報モニタが大幅に伸長し、血球計数器も好調に推移しました。米州では、米国で大きく売上を伸ばしたほか、中南米も好調に推移しました。欧州は、円高による為替換算上の目減りに加え、前年同期のドイツ、トルコにおける大幅増収の反動もあり、低調に推移しました。アジア州では、中国で大きく売上を伸ばしたほか、インドも好調に推移しました。この結果、海外売上高は49億9千1百万円（同12.6%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は277億7千5百万円（同11.3%増）となりました。利益面では、増収に加えて、自社品の販売促進や生産効率の向上により売上総利益率が改善したことから、営業利益は21億6千7百万円（同106.3%増）、経常利益は18億5千3百万円（同79.0%増）、四半期純利益は10億6千万円（同66.5%増）となりました。

売上高を商品群別に分類すると次のとおりです。

	金額（百万円）	対前年同期増減率（%）
生体計測機器	7,518	+ 14.0
生体情報モニタ	9,503	+ 17.5
治療機器	4,393	+ 5.1
その他	6,360	+ 4.5
合 計	27,775	+ 11.3
うち国内売上高	22,784	+ 11.0
うち海外売上高	4,991	+ 12.6
（ご参考）地域別海外売上高		
米州	1,889	+ 23.4
欧州	1,176	△ 16.3
アジア州	1,669	+ 27.4
その他	254	+ 38.3

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ27億3千7百万円減少し、966億6千5百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ29億1千9百万円減少し、798億2千2百万円となりました。これは、現金及び預金が増加した一方、受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億8千2百万円増加し、168億4千2百万円となりました。これは、投資有価証券の取得により増加したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ27億2千3百万円減少し、287億6千8百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金や賞与引当金が減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1千4百万円減少し、678億9千6百万円となりました。これは、利益剰余金が増加した一方、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金が減少したことなどによるものです。

これらの結果、1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ0.19円減少して1,544.68円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末の68.3%から1.9ポイント増加し70.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想については、第1四半期連結累計期間の実績および直近の業績動向を踏まえ、5月10日に発表した業績予想を修正しました。売上高は前回予想と変わりませんが、利益については、第1四半期連結累計期間の実績が当初の想定を上回ったことから、営業利益50億円（前回発表から7億円増）、経常利益47億円（同4億円増）、四半期純利益28億円（同2億円増）を見込んでいます。

なお、通期の業績予想については、円高や欧州の財政不安等、先行き不透明な経済環境を鑑み、前回発表予想に変更はありません。

為替の前提は80円/米ドル、100円/ユーロです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の算定方法)

税金費用の算定に関しては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,342	14,189
受取手形及び売掛金	42,249	34,586
有価証券	12,000	11,500
商品及び製品	10,452	11,354
仕掛品	1,304	1,424
原材料及び貯蔵品	2,395	2,437
その他	5,364	4,620
貸倒引当金	△366	△291
流動資産合計	82,742	79,822
固定資産		
有形固定資産	8,516	8,422
無形固定資産		
のれん	757	740
その他	2,764	2,626
無形固定資産	3,522	3,367
投資その他の資産		
投資有価証券	2,555	2,955
その他	2,125	2,148
貸倒引当金	△59	△51
投資その他の資産合計	4,622	5,052
固定資産合計	16,660	16,842
資産合計	99,403	96,665
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,068	18,485
短期借入金	620	923
未払法人税等	2,189	1,827
賞与引当金	2,460	650
製品保証引当金	428	429
その他	4,946	5,523
流動負債合計	30,714	27,838
固定負債		
長期借入金	3	3
退職給付引当金	405	587
長期未払金	191	170
その他	177	169
固定負債合計	778	930
負債合計	31,492	28,768

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,544	7,544
資本剰余金	10,487	10,487
利益剰余金	52,768	52,819
自己株式	△2,020	△2,020
株主資本合計	68,779	68,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	37
為替換算調整勘定	△955	△1,006
その他の包括利益累計額合計	△910	△969
少数株主持分	41	35
純資産合計	67,911	67,896
負債純資産合計	99,403	96,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	24,952	27,775
売上原価	12,376	13,311
売上総利益	12,575	14,464
販売費及び一般管理費	11,525	12,296
営業利益	1,050	2,167
営業外収益		
受取利息	3	20
受取配当金	46	46
貸倒引当金戻入額	13	63
その他	32	85
営業外収益合計	95	215
営業外費用		
支払利息	5	5
為替差損	63	508
その他	41	15
営業外費用合計	110	529
経常利益	1,035	1,853
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	1,033	1,853
法人税等	392	793
少数株主損益調整前四半期純利益	640	1,060
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3	△0
四半期純利益	637	1,060

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	640	1,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△8
為替換算調整勘定	△0	△56
その他の包括利益合計	32	△64
四半期包括利益	672	995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	671	1,001
少数株主に係る四半期包括利益	1	△5

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。